



## ・・・大野中地区・・・

大野中地区は、駅周辺に商業地域が形成されている一方で、かながわ美林50選にも選ばれている「木もれびの森」等もあり、みどり豊かな地区でもあります。また、毎年秋には、「相模原よさこいRANBU!」が開催され、市内外から多くの踊り手が参加し、リズムカルな音楽と華麗な踊りに7万を越す市民が酔いしれます。

### 大野中地区優秀賞



【撮影者】村田 行男  
【タイトル】憩いの一瞬  
【撮影場所】木もれびの森  
【コメント】良き場所、良き仲間との語らい。いいですネ。

#### 審査員寸評

まずは、立派な枝ぶりの山桜に感動しました。公園での一コマでしょうか、大きな木の下にベンチで語らう人物を小さめに入れ込んだあたりがとてもおしゃれです。楽しそうな声が聞こえてきそうです。手前の桜から背景の人物まで被写界深度を深くして、きちっとピントを合わせたため、人物の存在感があまり大変結構な仕上げとなりました。

【撮影者】西野 諒  
【タイトル】コロナ禍のコアラ  
【撮影場所】大野台中央公園  
【コメント】いつもは子どもたちで溢れている公園。夕日に照らされて寂しそうに佇むコアラを切り取りました。早くコロナが無くなることを祈って。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】西野 諒

【タイトル】下が空

【撮影場所】大野台中央公園

【コメント】雨上がりの公園に子どもと立ち寄った時の写真。一面が水たまりになっており、空や木々を反射し幻想的な景色になっていました。子どもは嬉しそうに水たまりの中へ吸い込まれていきました。

【撮影者】諏訪 一紀

【タイトル】花影

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】春を迎えた木もれびの森は、満開の桜の花影を作り静かに私を迎えてくれた。



【撮影者】和泉 勝雄

【タイトル】餅つき

【撮影場所】自治会広場

【コメント】毎年楽しみにしていた餅つき大会が、新型コロナウイルスのため中止になりました。昨年まで、皆さんがついた餅を全世帯に配ってありました餅つき会場では、豚汁も用意し子どもさんたちにはピンゴゲームも用意、太鼓の演奏もありました。今年は残念です。新型コロナウイルスの一日も早い終末を願っています。





【撮影者】廣田 幸一  
【タイトル】さくらんぼにナール  
【撮影場所】大野台 木もれびの森中央広場  
【コメント】桜が咲いたばかりの木もれびの森、  
広場に幼児が先生に連れられてやって来て、楽し  
そうに先生の話に耳をかたむけて、はしゃいでい  
た。



【撮影者】廣田 幸一  
【タイトル】大樹になった山桜  
【撮影場所】大野台 木もれびの森中央広場  
【コメント】桜は咲いていないが、大きな木にな  
り葉を繁らせ、覆いかぶさる様にどしりと立ち、  
その下で少年たちがサッカーの練習をしている。  
何もなかった様に、あたりまえの様に大木とし  
て。

【撮影者】加藤 昌位  
【タイトル】相模原の軽井沢  
【撮影場所】相模原中央緑地（木もれびの森）  
【コメント】木もれびの森を散策していた時に、  
眼前にまるで軽井沢にいるかのような光景が広が  
っており、思わずシャッターを切りました。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】行田 ゆう子

【タイトル】国道16号

【撮影場所】南区鵜野森

【コメント】暮らしと共にある国道16号線。昼間の喧騒とは別の夜の景色を見る。ショールーム、ネオンが明るく自動車が隙間なく行きかう。片側の森には夜の帳が訪れ静寂に包まれる。

【撮影者】行田 ゆう子

【タイトル】三月の雪

【撮影場所】南区鵜野森

【コメント】朝、目が覚めると外は雪。水気を含んだ重そうな雪が降り続けている。毎年春を知らせてくれる中央広場の桜が気になる。寒いけど。カメラを抱えて様子を見に行く。桜は雪をまといながら凜と佇んでいる。



【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】静かな春

【撮影場所】相模緑道緑地(西大沼)

【コメント】今年の春はいつになく穏やかで、また静かな春でしたね。そのような中で散歩に出向いた相模緑道緑地での1枚です。普段のような賑わいはなく、散歩をしている人が数人いる程度でした。なので少し物寂しいような気もしましたが、そこにはたくさんの「緑」がありました。これも日々手入れをしてくださっている方々のおかげです。そのような方々と緑あふれる南区はまさに私のイチ押しです！



【撮影者】石渡 健太郎

【タイトル】木漏れ日の森

【撮影場所】西大沼4丁目交差点付近(木もれびの森)

【コメント】こもれびの森の木漏れ日はとても美しいです！！この写真道路(古淵麻溝台線)は交通量が多く、車の通行が絶えません。ですが、この状況下で外出が減った4月に散歩に出かけた際、ほとんど車のいない構図をつくることに成功しました。普段見ることのできない光景ですが、大好きなこもれびの森の素敵な写真となりましたので応募させていただきました。新型コロナウイルスがはやく終息するといいですね。



【撮影者】天野 行雄

【タイトル】森の妖精・摩耶蘭

【撮影場所】木もれびの森(緑道沿い)

【コメント】私の愛する「こもれびの森」は日課の散歩コースです。四季折々の自然に触れられることは生きる喜びです。今年もまた絶滅危惧種の摩耶蘭に出会えて元気を与えられました。妖精のような清楚な姿が今後も毎年見られることを祈念しています。

【撮影者】内川 清美

【タイトル】祈り(慰霊塔とサクラ)

【撮影場所】慰霊塔公園

【コメント】今年も見事に綺麗に咲きました。幾多の戦禍に散った先人のご冥福をお祈りすると同時に世界の平和・・・1945年小学4年生の夏、郷里久留米市にて焼夷弾攻撃、爆弾攻撃、焼け野が原と云う恐ろしい戦争体験を思い起し、この素晴らしい満開の桜と共に世界の平和を願い、祈り、今年も見事に咲いてくれたサクラに喜びいっぱい感謝するものである。



「第9回 南区 私のイチ押し写真」  
応募作品発表



【撮影者】内川 清美

【タイトル】決断

【撮影場所】木もれびの森

【コメント】我が道を行く、右でもない、左でもない、自分の決めた道を信じ、己を信じ自信をもって進めば道は自ずと開かれ明るい未来がそこに君を待っている。